



2020年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年9月5日

上場会社名 スバル興業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9632 URL https://subaru-kougyou.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永田 泉治
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理本部長(氏名) 松丸 光成 (TEL) (03)3213-2861
 四半期報告書提出予定日 2019年9月13日 配当支払開始予定日 2019年10月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年1月期第2四半期の連結業績(2019年2月1日~2019年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第2四半期	14,087	9.9	2,708	44.7	2,725	44.2	2,243	84.0
2019年1月期第2四半期	12,823	8.2	1,871	△11.4	1,889	△11.5	1,219	△14.4

(注) 包括利益 2020年1月期第2四半期 2,241百万円(81.5%) 2019年1月期第2四半期 1,235百万円(△14.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第2四半期	872.82	—
2019年1月期第2四半期	474.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年1月期第2四半期	29,182	24,114	82.3
2019年1月期	26,815	22,234	82.6

(参考) 自己資本 2020年1月期第2四半期 24,028百万円 2019年1月期 22,148百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期	—	50.00	—	140.00	190.00
2020年1月期	—	50.00	—	—	—
2020年1月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年1月期期末配当金の内訳 普通配当50円 特別配当90円

3. 2020年1月期の連結業績予想(2019年2月1日~2020年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	5.3	3,570	16.6	3,600	24.9	2,780	52.7	1,081.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年1月期2Q	2,662,000株	2019年1月期	2,662,000株
② 期末自己株式数	2020年1月期2Q	91,542株	2019年1月期	91,314株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年1月期2Q	2,570,571株	2019年1月期2Q	2,571,309株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが見られたものの雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは各事業において業績の向上に努めました結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は140億8千7百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は27億8百万円（前年同期比44.7%増）、経常利益は27億2千5百万円（前年同期比44.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、『銀座スバルビル』の売却益を計上したこともあり、22億4千3百万円（前年同期比84.0%増）となりました。

以下、セグメント別の概況をご報告申し上げます。

(道路関連事業)

道路関連事業は、公共投資が底堅く推移しましたが、労務費および資機材価格の上昇、慢性的な建設技能者の不足や企業間における受注競争の激化等により、依然として予断を許さない状況が続きました。このような状況のなか、当社グループは、原価管理の徹底によるコストの削減や業務の効率化による収益の向上に努め、また高速道路のリフレッシュ工事や災害復旧工事および橋梁補修工事が完工したこともあり、売上高は124億1千9百万円（前年同期比11.8%増）、セグメント利益は28億4千5百万円（前年同期比44.4%増）となりました。

(レジャー事業)

『有楽町スバル座』における映画興行は、邦画を中心に期中13作品を上映し、「ある町の高い煙突」「愛がなんだ」等が人気を博し、売上高は前年同期を上回りました。

飲食事業は、業界全体としては緩やかな回復基調にあるものの、人件費の上昇や原材料価格の高止まり等により、依然として厳しい事業環境が続きました。このような状況のなか、飲食店では、お客様のニーズに合わせたメニューの提供に努め、物品販売では、炭酸飲料水等が好調に推移しましたが、飲食店舗減少の影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。

マリナー事業は、『東京夢の島マリナー』『浦安マリナー』の両マリナーにおける年間契約の船舶係留数が高水準に推移したことに加え、船舶修繕業務等が好調に稼働しましたが、天候不順により施設利用者が減少したこともあり、売上高は前年同期並みとなりました。

以上の結果、レジャー事業全体の売上高は13億6千4百万円（前年同期比2.9%減）となりましたが、飲食店舗開業費等の経費の減少により、セグメント利益は6千3百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、『吉祥寺スバルビル』や『新木場倉庫』等の賃貸物件が堅調に稼働し、売上高は3億4百万円（前年同期比1.9%減）となりましたが、修繕費用の減少により、セグメント利益は1億8千8百万円（前年同期比16.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金、土地の減少等がありましたが、現金及び預金の増加等により前連結会計年度末に比べ23億6千7百万円増の291億8千2百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少等がありましたが、未払法人税等の増加等により前連結会計年度末に比べ4億8千7百万円増の50億6千7百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ18億7千9百万円増の241億1千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2019年3月14日に公表いたしました2020年1月期の連結業績予想を変更しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,419,797	10,749,173
受取手形及び売掛金	5,195,817	4,553,842
商品	70,556	72,468
未成工事支出金	888,790	815,123
原材料及び貯蔵品	110,804	120,002
短期貸付金	1,200,000	1,200,200
その他	101,024	145,539
貸倒引当金	△52,029	△54,170
流動資産合計	14,934,761	17,602,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,560,110	2,637,617
機械装置及び運搬具(純額)	1,558,861	1,499,306
土地	4,745,096	4,445,561
建設仮勘定	—	1,737
その他(純額)	158,769	150,818
有形固定資産合計	9,022,838	8,735,041
無形固定資産		
のれん	627,761	590,834
その他	66,128	66,009
無形固定資産合計	693,890	656,844
投資その他の資産		
投資有価証券	299,610	296,970
繰延税金資産	135,735	176,030
差入保証金	850,740	869,835
保険積立金	742,307	710,453
その他	368,501	364,905
貸倒引当金	△233,094	△229,760
投資その他の資産合計	2,163,801	2,188,435
固定資産合計	11,880,530	11,580,321
資産合計	26,815,291	29,182,501

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,774,315	1,378,537
未払法人税等	554,699	1,157,124
賞与引当金	99,873	133,097
役員賞与引当金	28,760	—
資産除去債務	—	28,000
その他	1,034,916	1,296,238
流動負債合計	3,492,564	3,992,996
固定負債		
繰延税金負債	12,823	8,120
退職給付に係る負債	271,346	287,881
資産除去債務	261,954	236,848
その他	541,876	541,963
固定負債合計	1,088,001	1,074,813
負債合計	4,580,565	5,067,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,331,000	1,331,000
資本剰余金	1,273,811	1,273,811
利益剰余金	19,881,673	21,765,429
自己株式	△343,519	△344,861
株主資本合計	22,142,965	24,025,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,350	2,849
その他の包括利益累計額合計	5,350	2,849
非支配株主持分	86,410	86,462
純資産合計	22,234,726	24,114,691
負債純資産合計	26,815,291	29,182,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年2月1日 至2018年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年2月1日 至2019年7月31日)
売上高	12,823,250	14,087,771
営業費用	10,077,439	10,436,439
売上総利益	2,745,811	3,651,331
一般管理費	874,429	943,150
営業利益	1,871,382	2,708,181
営業外収益		
受取利息	783	832
受取配当金	4,111	4,697
その他	13,665	14,236
営業外収益合計	18,560	19,766
営業外費用		
その他	251	2,408
営業外費用合計	251	2,408
経常利益	1,889,691	2,725,539
特別利益		
保険解約返戻金	2,670	1,622
固定資産売却益	—	609,751
特別利益合計	2,670	611,373
特別損失		
固定資産売却損	—	24,013
減損損失	15,308	—
特別損失合計	15,308	24,013
税金等調整前四半期純利益	1,877,053	3,312,900
法人税、住民税及び事業税	658,949	1,113,883
法人税等調整額	△20,606	△44,844
法人税等合計	638,343	1,069,038
四半期純利益	1,238,710	2,243,861
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,359	210
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,219,351	2,243,651

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年2月1日 至2018年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年2月1日 至2019年7月31日)
四半期純利益	1,238,710	2,243,861
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,672	△2,500
その他の包括利益合計	△3,672	△2,500
四半期包括利益	1,235,037	2,241,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,215,678	2,241,150
非支配株主に係る四半期包括利益	19,359	210

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	道路関連事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	11,107,507	1,405,456	310,286	12,823,250	—	12,823,250
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	340,892	32,268	373,161	△373,161	—
計	11,107,507	1,746,349	342,555	13,196,411	△373,161	12,823,250
セグメント利益	1,970,347	56,449	162,064	2,188,862	△317,479	1,871,382

(注) 1 セグメント利益の調整額△317,479千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	道路関連事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	12,419,140	1,364,302	304,328	14,087,771	—	14,087,771
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	338,228	32,199	370,427	△370,427	—
計	12,419,140	1,702,530	336,527	14,458,199	△370,427	14,087,771
セグメント利益	2,845,224	63,890	188,437	3,097,552	△389,371	2,708,181

(注) 1 セグメント利益の調整額△389,371千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。